

# 米価暴落の予想



# 余剰米は生活困窮者支援へ

## 米原市民報

日本共産党米原市議員  
山脇正孝 Tel.52-1093  
日本共産党湖北地区議員団  
事務局 藤田正雄 Tel.55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

6月22日にJAレーク伊吹の総代会が開催されました。農協総代で長浜市農業委員である長浜市鳥羽上町在住の北村富生さんが行なった総代会での発言や農業委員会での提案を聞きました。日本の農業に対する大変な危機感を訴えられています。

### 農協総代全員の発言

日頃の農協経営に対するご努力に心から敬意を表します。併せて私事で恐縮ですが、先の農林水産大臣賞受賞にあたり御祝と併せて「日本農業新聞」に記事を掲載いただきました事に改めて御礼申し上げます。余剰米を政府が買い上げ生活困窮者への食料支援の大運動をJAが先頭に立つよう求めます。

### 21年産米の暴落は必至

「このままでは令和3年産米価は大幅に下落します」「令和2年産米1万4963円から1万1967円(※平成26年産米)？。その差は3千円。」(全国農業新聞。※平成26年産は前年の在庫が過剰となり米価が大暴落した年です。)

「このままでは米在庫が大幅に増え。2021年産米価は、1俵1万円そこそこになり、暴落は2年連続となりかねない」JA全中は、こんなショッキングな試算を発表しました。米1俵の生産費は農水省発表でも1万2千円で、大規模農家ほど大きな打撃を受け、耕作条件不利水田からの撤退も懸念されています。

JAレーク伊吹は今年産米の価格動向についてどう見ておられるのか明確にされた。

### 一日一食の生活困窮者も

#### 雑感

農民の内閣支持率が大きく下がっていると農業新聞が伝えている。田舎であつまると今後の農業がどうなるのか不安を訴える人が多い。今まで地域の農業を支えた人が、高齢化で農業の継続が困難な事例。農業法人でも後継者がなく事業縮小する事例。このような状況を作ったのは政府自民党。農業を基幹産業とする日本共産党綱領の立場で頑張らなければ。

コロナ禍による外食産業の需要の激減といインバウンドの消滅で米余りが顕著生や貧困家庭では1日1食しか食べない人も多数生れています。「余る米と余剰米を政府が買い上げ、生活困窮者に」は、与野党一致しています。地方自治体では、生活困窮者への支援として「お米券」を配布しているところもあります。

### 提案の趣旨

### 減反押し付けが破たん

農水省は主食用から飼料用などへの「作付け転換の意向」についての中間取りまとめで、5月末で政府転作目標の5割になるとの試算を発表しました。減反押し付けが破たんしていることは明白です。JAとしても作付け転換一本やりを改め、過剰米を政府が買い上げ生活困窮者に回せと要求すべきではないでしょうか。

### 米市況暴落の背景

コロナ禍による米の需給改善と米価下落の対策を求める意見書を政府に提出するよう提案しました。①コロナ禍の需要減少による過剰在庫を政府が緊急に買い入れ、米の需給環境を改善し、米価下落に歯止めをかけること。

- ②政府が買い上げた米を、コロナ禍などによる生活困窮者・学生などへの食料支援で活用すること。
- ③国内消費に必要な外

きです。コメの輸入も当然減らすべ